

愛知県保険医協会

学生会員ニュース No.75

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655 名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

今年は梅雨が早く明けたと思ったら、戻り梅雨ではっきりしない天気が続いていますね。コロナの再拡大も急速に進んでいて不安な毎日です。今回は岸田政権が閣議決定した「骨太の方針2022」の中で医療に関係する部分を紹介します。



マイナンバーカードを普及させるために

医療機関等にオンライン資格確認システム導入を義務化！？

これまで任意としていたオンライン資格確認システムの導入を2023年4月から原則「義務化」して、将来的に保険証を原則廃止し、マイナンバーカードで医療機関を受診させる方針をだしました。

マイナンバーカードの取得は任意ですが、保険証が廃止となれば事実上の義務化になります。政府は普及が進まないマイナンバーカードを普及させるために、医療機関でのオンライン資格確認システムの体制整備の「義務化」を進めようとしています。医療機関に一方的に負担を押しつけ、対応できない医療機関が廃業に追い込まれれば、医療崩壊を招きかねません。保険医協会・保団連は「義務化」反対の運動を進めています。



「かかりつけ医」の制度化

「かかりつけ医」に関して、機能が発揮される制度整備を行うと明記されています。財政審では医療機関には休日夜間対応や在宅医療推進などの要件を課し、患者には「事前登録・医療情報登録」を求め、登録していない医療機関を受診した場合に受診時定額負担をさせることも議論されています。日本の医療保険制度の優れた特徴であるフリーアクセスを阻害することになります。

リフィル処方箋の普及・定着

2022年度診療報酬改定で導入された「リフィル処方箋」ですが、政府は普及に躍起になっています。また、5月2日付の日本経済新聞の社説では、いかにも医療機関が再診料等の収入が減る心配からリフィル処方を行っていないかのような書きぶり、医療機関たたきを展開しています。たとえ前回と同じ処方内容になったとしても、医師は診察で全身状態、検査結果、主訴などを勘案し処方をしています。何カ月も患者が受診しないということは、処方内容の変更も検査もできず外来の医療の質が下がること、慢性疾患が悪化することなどが懸念されます。



そのほか、防衛費は5年で5兆円増やすにもかかわらず、社会保障費の自然増抑制策は継続する、オンライン診療の促進、病床削減の地域医療構想の推進、国民皆歯科健診の検討などが盛り込まれています。

